

課題別ヒアリング（障がい者部門）

障がい者ヒアリング実施人数 129人

年齢

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
人数	4	13	19	29	24	29	8	0	3	129

性別

性別	男性	女性	未回答	合計
人数	84	43	2	129

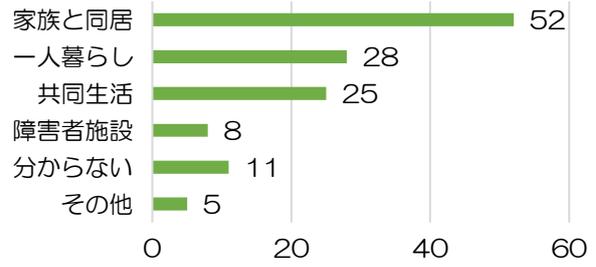
手帳

種別	身体	精神	療育	なし	未回答	合計
人数	24	39	37	23	6	129

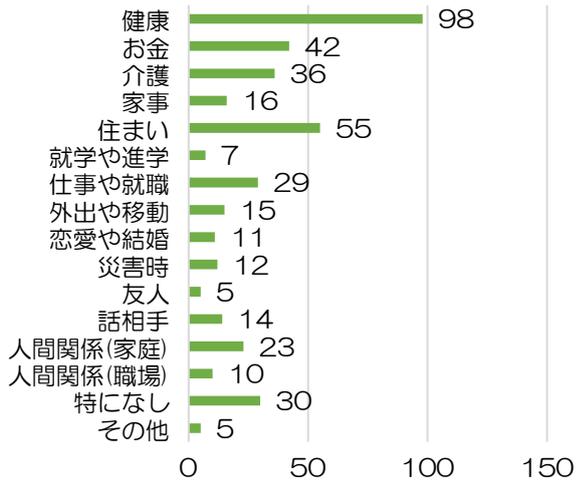
設問1 現在暮らしている場所



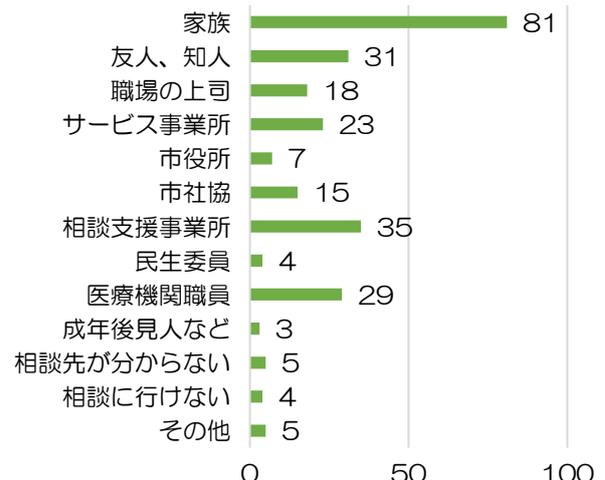
設問2 今後の暮らしについて



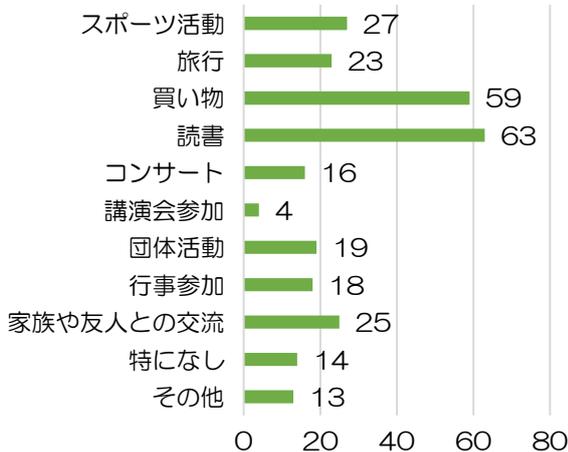
設問3 悩みや相談ごと（複数回答）



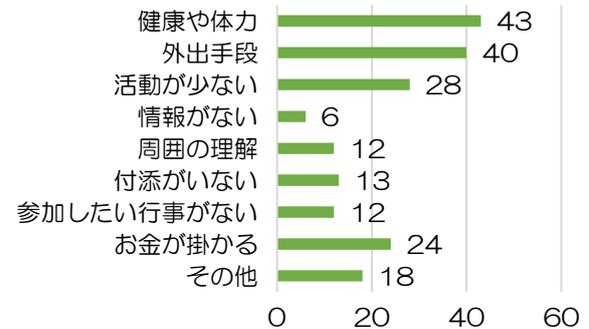
設問4 相談先（複数回答）



設問5 趣味的な活動について（複数回答）



設問6 趣味的活動を行う際に不便だと思うこと（複数回答）



意見

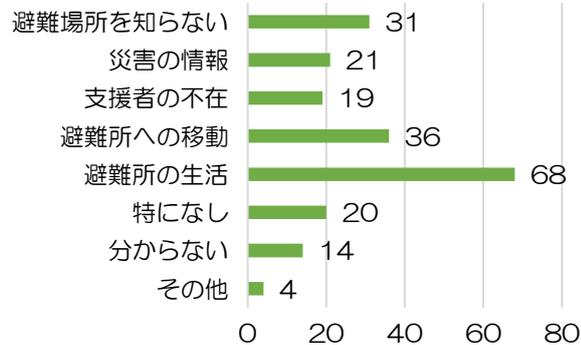
- ・人の目が気になり、外出に不安がある
- ・外出先でのトイレに困ることがある

設問 7 外出頻度や方法について（自由記述）

- ・バスの本数が少なく、外出頻度が制限される。
- ・バスの停留所まで遠すぎて外出がし難い。
- ・市民バスを利用した時に他の乗客から「障害者はバスに乗るな」と言われた。
- ・買い物に行きたいが、買い物代より交通費のほうが高いため、買い物に行けない。
- ・通勤の手段が自転車しかないので、なかなか思うようなところに就職できない。
- ・運転ができないため、家族や友人の都合に合わせてしか外出することができない。

など

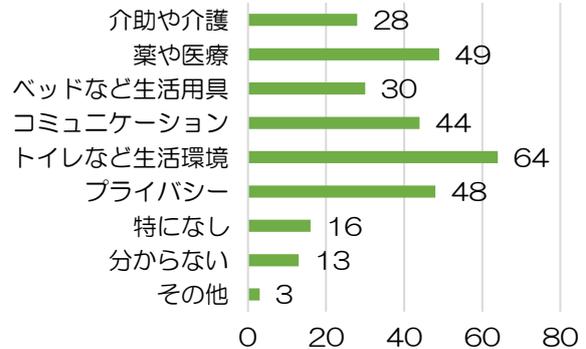
設問 8 災害が起こった際の不安（複数回答）



意見

自分が家族や近所の方の避難の妨げとなるような気がして不安になる。
 介助がないと避難できないので災害が起きたら諦めるしかない。
 災害について正確な情報が入るか不安である。

設問 9 避難所で困ると思うこと（複数回答）



意見

車椅子、ベッド、トイレなど相応の環境が必要になるので、学校や公民館など一般的な避難所での生活は困難と考えている。

設問 10 地域のために「これならできるかも・・・。」と思うものについて（自由記述）

- ・障害について小学生や中学生に対し、伝えること（福祉教育）ができる。
- ・建物や乗り物の使いやすさについて障害者の立場から意見を述べる事ができる。
- ・理解のある人を一緒ならば、地域のゴミ収集や清掃活動に参加できる。
- ・お年寄りや地域の方々とお話し（見守り）をすることができる。
- ・作品などを展示会や地区の文化祭などに出品することができる。
- ・パソコンの講師などであれば役に立つことができるかもしれない。

など

その他の要望・意見

- ・障害者は自身のことを理解してもらおうとするが、周囲の人のことを理解しようとする気持ちが薄い。障害者自身も周囲の人に気を配らないといけない。
- ・障害者雇用に関する情報がどこから発信されているのかわからない。
- ・病気や怪我により中途障害となった者がリハビリできる環境（施設 or 病院）を作してほしい。
- ・車椅子など日常生活用具の交付に時間が掛かり過ぎる。
- ・介護保険に移行する年齢になると福祉用具にリース代が発生し経済的な負担が重くなる。
- ・障害者が車椅子で移動できる程、道路の整備が為されていない。

など